

江東豊洲病院
コラム
(毎月発行)

昭和大学江東豊洲病院 こども病院だより

～女性とこどもに優しい病院～

第1回 | こども病院だより発行について

女性と子どもに優しい病院を 目指して7年が経ちました

病院長の笠間です。この度、昭和大学江東豊洲病院では、近隣の医療機関の先生方、保健福祉に係る方々に対して、『こども病院便り』を作成し発行することといたしました。

当院は、平成26年4月に病院開設以来早いもので7年が経過いたしました。江東区は再開発が年々進み、ファミリー層など若年層の方々の流入が増加してきており、産科医療、小児医療の役割がとても重要な地域となっています。

その様な環境のなかで当院は『女性と子どもに優しい病院』を病院コンセプトとして開院いたしました。

『女性と子どもにやさしい病院』を目指して分娩から育児支援までトータルで提供するほか、小児部門では救急疾患に24時間対応をしており、子どもの軽い疾患の手術から難病の治療など総合的に提供しています。産科においては妊娠中の合併症のほか、胎児の緊急事態にも対応し、ホットラインを設けて、二次救急機関として積極的に救急患者を受け入れています。

また、当院の大きな特徴として土・日、祝日も平日と同様に外来診療や検査、定期手術を行っている『休まない病院』も特色の一つとなっています。今後も患者さんの利便性向上に努め、近隣の医療機関の先生方の診療のバックアップ体制にも寄与していきたいと考えています。



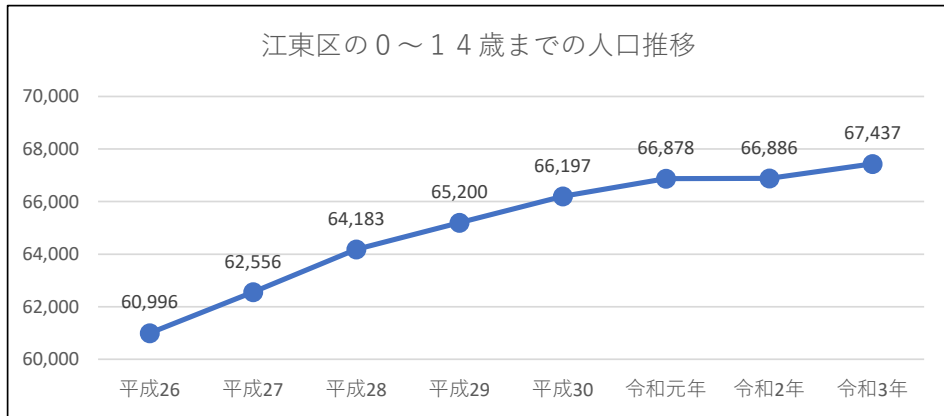
病院長
笠間 毅先生 (かさまつよし)
好きな食べ物：アップルパイ
出身地：神奈川県

最後に

こども病院便りは、こどもの診療に係る診療科の医師がコラムを執筆し、少しでも読者の方に興味を持ってもらえる内容などの情報を提供していく予定です。

こどもの疾患は小児科だけではなく、整形外科、耳鼻科、形成外科、歯科など様々な診療科の関わりがあり、昭和大学は『チーム医療』を大切にしています。皆様方のお力になれるよう、昭和大学江東豊洲病院が近隣医療機関の先生方と共にお子さまの未来を支え、日々進化をしていけるように努力を継続していきたいと思っております。

江東区の0～14歳までの人口推移



出典：江東区 区制人口統計情報から (各年1月1日時点での人口)

今回は第1回目のテーマとして、こどもセンター長（小児内科：責任者）の阿部祥英先生のお話をいただきます。

私が小学生だったのは約40年前です。友達と野球やサッカーをしたこと、田んぼ脇の小川でのザリガニ採り、雪合戦など、覚えているのは学校の授業よりも外で遊んだことです。面子、独楽回し、凧あげもしました。ある日、夕方遅くに帰ったら、母に叱られてしばらく家の中に入れてもらえませんでした。特別に悪い子でもなかった私は、遅くに帰ったことはほとんどありません。なんでそんなことで怒られるのだろうかかと疑問でした。しばらく経って、担任の藤田先生が「おうちに帰るのが遅くなるのは、なぜいけないことなのでしょう？」と教室のみんなに質問した日がありました。答えは「親が心配するから」、小学6年生にもなって、そんなことも知らなかった私は、おそらく初めて「他人の気持ちを考える」ことを納得するように学んだ気がします。

私が小児科医になったのは約20年前です。恩師の飯倉洋治教授は、重い気管支喘息の子を担当したら、その子の自宅の様子も知らなくてははいけない、

とよく仰っていました。実際に家庭訪問をしたこともあります。患者さんを受け持ったら、病気を治すだけでなく、その子の身の回りにも気を配り、原因を突き止めようとする姿勢の大切さを教わりました。また、「ダイヤの原石を石ころにするな」と仰って、よく診る病気でも一人一人の患者さんからきちんと何かを学びとるように諭していました。

小学校を卒業後、藤田先生とは一度もお会いしていません。飯倉教授も私を叱った母ももう亡くなりました。それでも大人達に言われたことは、今でもきちんと覚えています。この作文を読んだみんなは、周りにいるどの大人が20年や40年後の自分の心にどんな言葉を残すかを予想しながら過ごしてみてください。あなたの見本になる大人を探せるはずですよ。

読者の方へ

小児内科では、広く小児の疾患に対応できる診療体制を整えています。小児の腎臓病や尿路感染症、食物アレルギー



小児内科 責任者
阿部 祥英先生（あべよしふさ）
好きな食べ物：チーズ
出身地：岩手県

など検査を要するお子さんの受け入れも積極的に行っています。感染予防の観点から面会が不可になっている医療機関も多い中、当院では、お子さんの精神的な負担を一番に考え、PCR検査と十分な健康チェックを行った上で、**ご両親の付き添い入院**も通常通り許可しています。スタッフは皆、お子さんへの対応にも慣れていきますのでその点もご安心ください。



小児科医師のご案内



小児内科 松橋 一彦先生
（まつはし かずひこ）
卒業大学：
岩手医科大学医学部卒業
出身地：東京都
好きな食べ物：
幼児と同じ嗜好

<読者の方へ一言>

小児の疾患の中でも特に感染症（抗菌薬の適正な使用、ワクチン接種の重要性、感染予防など）を中心に仕事をしています。

受診のお手続きについて

- (1) 初診受付時間（月曜日～**日曜日**）
8：30～14：00
※時間外については救急センターで対応しています
- (2) お問い合わせ
03-6204-6000（代表）
（ご予約が無くても受診は可能です）
- (3) その他
当院に関する情報は右記QRコードをお手持ちのスマートフォンで読み取ってください。

